SI-R670B-001-00

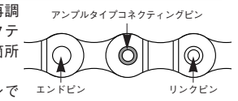
安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落し等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンプルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンプルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンプルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンプルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと充分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンプルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	6.5mm シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	7.1mm ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンプルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所で切断してください。
  アンプルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所で切るとチェーンを損傷します。



- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 逆スプリングタイプ後変速機RD-T300はロー側より調整してください。
- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。

- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法メンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-R670B-001

リアドライブシステム

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	NEXAVE
シフティングレバー	ST-T300-S
アウターケーブル	SP40シールド/ラバーブーツ
リアディレイラー	RD-T300 / RD-M310
タイプ	MGS
フリーハブ	FH-RM30-7
スピード	7段
カセットスプロケット	CS-HG30-7I
チェーン	CN-HG50
B.B.ガイド	SM-SP18 / SM-BT18

仕様

リアディレイラー

モデルナンバー	RD-T300 / RD-M310
タイプ	MGS
スピード	7段
トータルキャパシティー	43T
リア最大ギア	34T
リア最小ギア	11T
フロント歯数差	20T
適応フロントチェーンホイール (ギア歯数構成)	FC-M191 (42T-34T-22T, 48T-38T-28T)

カセットスプロケット歯数構成

タイプ	スピード	グループ名	歯数構成
HG	7段	ac	11、13、15、18、21、24、28T

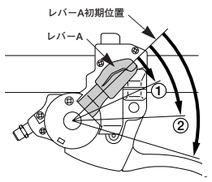
この説明書では、ST-T300-Sシフティングレバーを逆スプリングタイプの後変速機RD-T300と組み合わせた場合の操作方法を説明しています。トップノーマル仕様の変速機RD-M310と組み合わせた場合は変速操作およびインジケーター表示は反対になります。

変速操作方法

レバーA、ボタンBとも変速完了後、指を離すと必ずレバー／ボタン初期位置に戻るようになっています。
レバー／ボタン操作時には、必ずクランクを廻しながら操作ください。

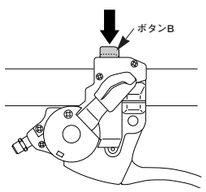
大ギアから小ギアへの変速（レバーA）

1段分だけ変速する場合は1の位置まで操作し2段分変速する場合は2の位置まで操作するという具合に変速したい段数分のストロークを操作します。最大3段分の一気変速まで可能です。



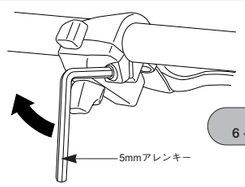
小ギアから大ギアへの変速（ボタンB）

1回操作して離すと小ギアから大ギアへ1段変速します。



レバー部の取付け

ハンドルグリップは最大外径が
φ32mm以下のものをご使用ください。

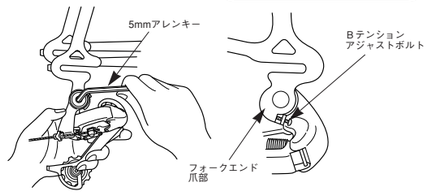


締め付けトルク:
6 - 8 N·m {60 - 80 kgf·cm}

リアディレイラーの取付け

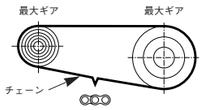
取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようにご注意ください。
(RD-T300)
この時プロセットアライメントブロックをはずさないでください。

ブラケット軸締め付けトルク:
8 - 10 N·m {80 - 100kgf·cm}



チェーンの長さ

フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



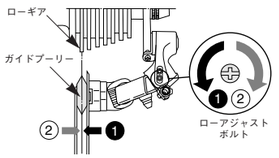
チェーンの取付け (RD-T300)

1. プロセットアライメントブロックをつけた状態でチェーンを取付けてください。取付け後プロセットアライメントブロックをはずしてください。

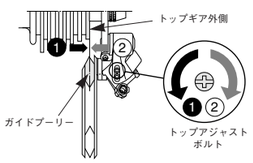
2. クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。

調整 (RD-T300)

1. ロー側の調整
ガイドプーリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。

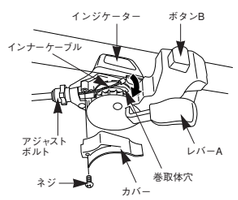


2. トップ側の調整
クランクを回しながら変速機を手でひっぱりトップ側に移動させ、後方から見て、ガイドプーリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。
クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。



3. アウターケーブル、インナーケーブルの取付けと固定
ボタンBを7回以上操作してレバー位置をローにセットし、インジケーターでロー位置を確認してからケーブルを取付け、調整を行います。

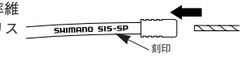
図のようにネジをゆるめて、カバーを外しアジャストボルトにインナーケーブルを通します。巻取体のスリットを使い巻取体の穴にひっかけます。
その際巻取体の穴はインナータイコ圧入になっていますので必ず奥までいれてください。



締め付けトルク:
5 - 7 N·m {50 - 70kgf·cm}

インナーケーブルの通し方向

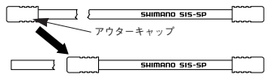
アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



アウターケーブルの切断

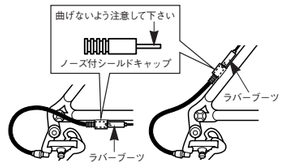
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

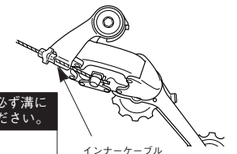


ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツについて

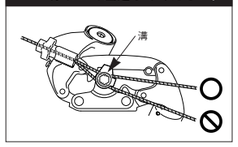
ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツはフレームのアウターストッパーに取付けて下さい。



図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



注意: インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。

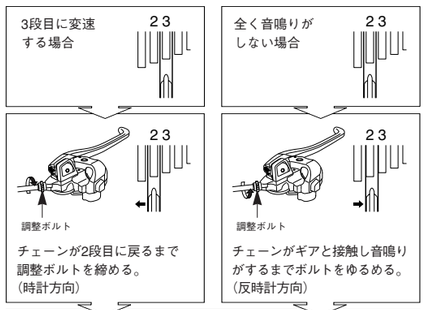


インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおしてください。

締め付けトルク:
5 - 7 N·m {50 - 70 kgf·cm}

4. SISの調整

クランクを廻しながらボタンBを操作して変速機をローギア位置にします。レバーAを1回操作してリアギアを2段目に変速させます。その後、レバーAの遊び分だけ操作した状態で、クランクを廻してください。



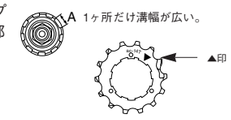
ベストセッティング
レバーAを操作しない状態で音鳴りがするまで調整ボルトを締め（時計方向）次にその時点より調整ボルトを90～180度ゆるめる（反時計方向）

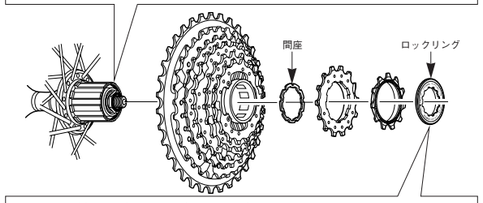
レバーAを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を充分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

ギアの取付け

各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部（溝幅が広いところ）と各ギアの▲印を合わせてセットします。

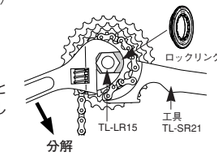




ギアの取付けは専用工具（TL-LR15）でロックリングを締め付けます。

締め付けトルク:
30 - 50 N·m {300 - 500 kgf·cm}

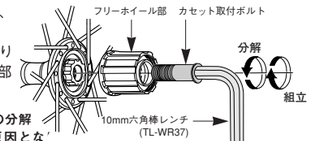
ギアの交換は専用工具（TL-LR15）とTL-SR21でロックリングを取り外します。



フリーホイール部の交換

ハブ軸を抜き取った後、フリーホイール部内のカセット取付ボルトを取り外し、フリーホイール部を交換してください。

ご注意: フリーホイール部の分解は、トラブルの原因となりますので行わないでください。

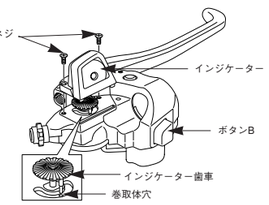


締め付けトルク:
35 - 50 N·m {350 - 500 kgf·cm}

インジケーターの交換

1. ボタンBを操作してローの位置まで戻します。
2. 巻取体の穴にインジケータ歯車のピンを入れてセットします。
3. インジケータの針を動かし、1に合わせます。
4. 3の状態でブレーキレバーブラケットの上に置きます。
   その時、針が動かないように注意してください。
5. インジケーター止めネジ2本で固定します。

締め付けトルク:
0.4 N·m {4 kgf·cm}



この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

＊取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
http://techdocs.shimano.com
製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847
株式会社 シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577